



市議会議員 砂田喜昭 Tel 67-4322



参議院議員 井上哲士

衆議院議員 笠井あきら

党市政策委員長 石山忠義 Tel 67-3525

党県政対策委員 上田ゆみ子 Tel 68-2106

禁無断転載 複写配布

国民健康保険の負担、軽減を

砂田市議 6月議会一般質問

6月議会まで砂田喜昭市議は8日、5項目の一般質問をしました。今週号では、国民健康保険の負担軽減を求めた質問と答弁を紹介します。

医療費窓口負担金の減免を

即していない面も考えられる。減免に関して細部にわたる規程の見直しを検討しており、他市町村や後期高齢者医療制度の減免規程の詳細な調査をしている。

「減免に該当する範囲を調査中」

民生部長 法第44条の規定は、災害、干ばつ、事業の休廃止などで収入が著しく減少し、生活が著しく困難な場合の特別な対応であり、運用については慎重な対応が必要。一部負担金免除の財源は国保税で負担するため国保税の運営面も考慮しなければならぬ。災害等緊急時の対応の一つとして、県内市町村の状況も踏まえながら、一部負担金減免等に該当する具体的な範囲について調査を進めている。

※※※※※※※※※※※※※※※※

その他の一般質問項目

(詳細は続報)

- ◇ 北朝鮮の核実験に抗議するとともに、核兵器廃絶への取り組み、非核平和宣言について
- ◇ 農地法改悪の問題について
- ◇ 竹の活用策について
- ◇ 市の備品管理について

国保税 減免制度の拡充を

砂田市議 派遣切りやリストラで職を失った方が、国保に加入すると、前年所得で国保税が課税されるため、収入が激減しているにもかかわらず、高い保険税がかけられる。これは派遣労働を原則自由化した政治災害だ。前年所得に比べて4分の1にならないと減免しないという現在の制度を改善する必要がある。

「現在の基準が 実態に即していない 見直しを検討中」

民生部長 国保税の減免には慎重な対応が必要だが、経済情勢の悪化に伴う派遣切りなどにより生活困窮者が急増している現状では、現在の条例及び減免要綱の基準が実態に

砂田市議 病院・医院の窓口で支払う医療費の一部負担金の減免について、国民健康保険法第44条では、災害、失業等で生活が困難になった場合に、医療費の一部負担金を減免する制度を設けているが、これまでこの制度は活用されてこなかった。

主な資本主義国で

三割負担は日本だけ

医療費の窓口負担が日本では3割負担が当たり前のようになっているが、通院・入院とも3割などという国は、主要な資本主義国には存在しない。ヨーロッパでは、多くの国で窓口負担が無料というのが当たり前だ。せめて法律に書いてある条項を活かすことぐらいはやって欲しい。



質問する砂田市議

農民連、市議会へ請願

農民連小矢部班(代表 辻慶輝さん)は6月2日、市議会へ二つの意見書を採択するよう請願しました。

農地法改悪に反対を

一つは、農地法「改正」案を廃案にするよう求めるものです。今国会で審議中の「改正案」は、現行の「耕作者に農地の諸権利を与え保護する」立場から、「効率的利用者」に農地の諸権利を移し変えて、「増収・安定」の戦後農政を「儲け主義」へと転換しようとするものです。衆議院で一部修正され、「耕作者」という言葉が復活するなどの手直しが行なわれていますが、まったく不十分です。農民連では、企業による農地の「効率的利用」に大きく道を開けて、農業と農村をいっそうの荒廃に導く、と心配しています。

政府備蓄米の買い入れを

もう一つは「20万トン規模の政府備蓄米の買い入れを求める」意見書採択のお願いです。今年2月、政府は「豊作過剰米」10万トンを買入れましたが、3月末には「備蓄米は買い上げしない」と言明し、超古米の安値放出などで米価低落を誘導し、4月以降コメ市場は60キロ当たり1,000円近く下落しています。農水省はかねがね、備蓄米の適正在庫を100万トンとしてきました。現在の在庫状況を見ると、政府は自ら決めたこのルールに従って、緊急に20万トン規模の米を買い上げる必要があります。辻さんは「米相場が1,000円上がれば、市に数億円のお金を持ち込むことになります。市議会の勇気ある対応を期待します。」と述べました。

